家庭園芸　2月の　園芸センターだより

立春を迎えましたが、一月中はほとんど降雪がなく、拍子抜けの感がありました。これから順調に春が来るのか心配されます。

一年中で一番温度の下がる時期です。ご家庭の鉢物は元気でしょうか。窓辺のよく日の当たる所に置いてあるシクラメンやプリムラなども、零度以下の日が続くと根が凍ることがあります。注意深くみていて、グッタリしている時は少し暖房のきいている部屋へ移してやりましょう。

また、ドラセナ、ベンジャミンゴム、ポトス、スパティフィラムなどの観葉植物は高温を必要とする植物で、越冬の難しい部類に入ります。葉は落としても、あきらめず水管理だけは続けて下さい。根が生きていれば、暖かくなると芽が出てきます。

さて、センターの温室では、これから三月にかけて一番の見ごろを迎えます。シクラメン、プリムラ類、フリージア、洋ラン類、シネラリア、カルセオラリア等々。画材や写真の被写体としても好適です。外では楽しめない彩りを求めて、どうぞおいで下さい。

（園芸センター）

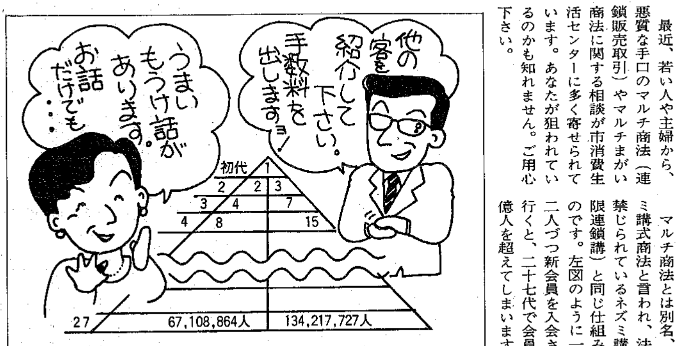
悪質な訪問販売　あなたも狙われている　マルチ商法にご注意！

最近、若い人や主婦から、悪質な手口のマルチ商法（連鎖販売取引）やマルチまがい商法に関する相談が市消費生活センターに多く寄せられています。あなたが狙われているのかも知れません。ご用心下さい。

マルチ商法とは別名、ネズミ講式商法と言われ、法律で禁じられているネズミ講（無限連鎖講）と同じ仕組みのものです。左図のように一人で二人づつ新会員を入会させて行くと、二十七代で会員は一億人を超えてしまいます。このように無限に会員が増え続けなければ、会は成り立たない仕組みですので、必ず行き詰まります。

また、組織販売ということで、子会員、孫会員というように増えることにより、組織内での地位が上がることによって収入割合も大きくなるということを利用して、純真な若い人を誘い込みます。この商法は一度入会すると自分が被害者であると同時に加害者という両面を持つことになります。大事な友を失うことにもなり、十分気を付けて下さい。

主な販売商品としては、洗剤、健康ふとん、健康食品、泡出し機、化粧品などが上げられます。



相談先　市消費生活センター（☎228-8100）

事例＝20歳の男性

中学時代の友達に「うまいもうけ話があるが、話を聞くだけで良いから」と誘われて説明会に出席した。会場のホテルには同年代の若者が大勢いた。

説明は、健康ふとんを購入して会に入って、一人紹介するたびに三万円もらえる。さらに上のクラスになると、もらう金額が大きくなり、直接紹介しなくてもお金がもらえるようになっている。その上、今入会しておくと数年後に代理店として独立できる権利が与えられる。この健康ふとんは他社に比べて保証期間が長く、しかも健康に良いという特許のある品物である。

というような説明だったので、商品代四十万円、クレジット手数料十万円の計五十万円の購入契約を結び頭金三万円を支払った。

後で冷静に考えてみると、自分の性格から商品販売に適さないし、説明の内容にも信じられない点もあり解約できないか。

■問題点

1　簡単に利益が得られるかのような説明である。

2　交付された書面のクーリング・オフが八日間である。

3　書面の交付を受けてから十三日目になっている。

4　商品が特に優れているかのように説明している。

5　数年後の代理店を夢見ているが、当該企業が数年後も営業を続けている保証はない。

■処理

以上の問題を指摘した内容証明郵便により契約解除の申し出をするようにアドバイスをした。

10日から　シルクフェア'89開催

優雅で機能的、そして魅力あふれる素材――知っているようで知らないそんなシルク（絹）の素晴らしさを見つめ直し、蚕糸絹業の発展を図る「シルクフェア」が今年も二月十日から三日間開かれます。

シルクを中心に構成された楽しい催しがいっぱい。ご家族おそろいで、どうぞ。

日時　二月十日〜同十二日

会場　伊勢丹七階アートホール

主な催し　①「**学ぶ**」…シルクができるまでの過程を視覚的に展示②「**遊ぶ**」…手織りや京染めを体験③「**ふれる**」…シルク製品の逸品を豊富に展示④「**見る**」…九面体マルチビジョンで絹の神秘を上映⑤「**作る**」…まゆ人形、シルクフラワーの手作り教室⑥「**知る**」…洗濯の方法などシルク製品の取り扱いコーナー⑦「**選ぶ**」…シルクの即売⑧「**考える**」…クイズコーナー

■ファッションショー&加納竜トークショー

日時　二月十一日①午後一時②午後三時半

会場　万代シルバーホテル五階「万代の間」

問い合わせ　県蚕糸園芸課（☎285-5511内線2948・2949番）へ

新潟市史　よもやまばなし㊹

天保のころの出稼ぎ

天保十四（一八四三）年三月、幕府は江戸にいる出稼ぎ人を郷里へ帰すため、いわゆる「人返令」を発し、五月には他国出稼ぎの実態調査を指令した。当時天領だった金巻新田（中野小屋地区）でも調査が行われ、その報告の下書きが残っている。朝妻家文書の「他国出稼男女取調書上帳下タ」がそれである。この年の村の家数は十五。住人は出稼ぎ人を含めて、男五十五、女四十五の計百人だった。

この調査では天保二年に出稼ぎに出た者が最初で、十四年までの間に村を出て帰らない者は男十八、女三人である。出稼ぎといっても、農閑期に出て、農繁期には村に帰るという形態ではない。現在でいえば県外就職である。

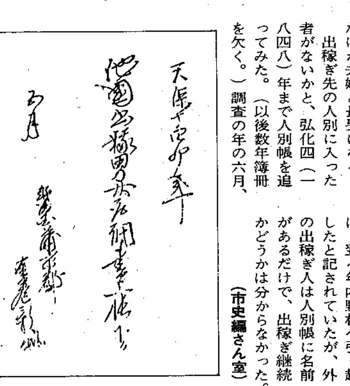
出稼ぎ先は、男五人が江戸。うち三人が大工で、商い奉公とあんまが一人ずつである。大工の二人は兄弟で、これとあんまの三人については、既に妻子があり、江戸の人別に入ったそうだと記載されている。残る五人のうち二人は、宇都宮領上寺村の同じ家で木挽（こびき）をしており、あとの三人は行方不明。ただし毎年音信があるので「除帳」していないと記している。当時長期間行方不明の場合は、人別帳から名前を除いた。「帳外（はずれ）」と言う。

女子のうち二人は姉妹で、会津領泉新田の同じ家に奉公し、他の一人は同領七日市で日雇いをしている。

出稼ぎ人を出している家は八軒で、この年の「宗旨人別帳」と付き合わせると、出稼ぎ一人が四軒、二人が二軒、三人が一軒となる。出稼ぎ人が出た後の働き手は、例外二軒の外は、夫婦だけか夫婦と長男になる。

出稼ぎ先の人別に入った者がないかと、弘化四（一八四八）年まで人別帳を追ってみた。（以後数年簿冊を欠く。）調査の年の六月、出稼ぎ姉妹の姉の方が病死、翌年四月、女日雇いが病死、五月江戸のあんまの病死が記録されていた。江戸の人別入りとあった大工の一人は、翌々年内野村へ引っ越したと記されていたが、外の出稼ぎ人は人別帳に名前があるだけで、出稼ぎ継続かどうかは分からなかった。

（市史編さん室）



他国出稼男女取調書上げ帳（表紙）

2月17日は「新潟安吾忌」

二月十七日は、新潟市が生んだ偉大な作家・坂口安吾の命日です。「安吾の会」では、同日、坂口安吾を偲（しの）び、〝坂口安吾文学賞〟の創設、〝海のみえる文学館（坂口安吾記念館）〟建設の機運を一層高めようと、「第二回新潟安吾忌」を催し、多くの人たちの参加を呼びかけています。お誘い合わせの上、どうぞ。

〈昼の部〉

時間　午後三時〜

会場　新津市大安寺坂口家墓

内容　墓前祭

〈夜の部〉

時間　午後六時〜八時

会場　護国神社内ときわ会館（西船見町）

内容　山形県川西町にある遅筆堂文庫（井上ひさし記念館）の開設に孤軍奮闘した遠藤征広さんの講演ほか

参加費　千円（午後八時〜九時半の坂口安吾を偲ぶ交流会にも参加する人は三千円加算）

問い合わせ　「安吾の会」事務局（八千代二シネ・ウインド内、☎243-5530）へ

経済講演会

日時　2月16日午後1時半〜4時40分

会場　セレモニーホール新潟（堀之内）

定員　200人

演題・講師　第1部（午後1時半〜3時）…「企業イメージ戦略・マーケティング戦略」相田英文・㈱ユニバーサル・データ専務取締役、第2部（午後3時10分〜4時40分）…「ソフト産業の開発と異業種交流ネットワーク」今林隆・中小企業診断士

申し込み　電話で市工業振興課（☎224—7248）へ

婦人ソフトバレーボール講習会

日時　2月7、14、21日午後1時〜3時

会場　鳥屋野総合体育館

参加費　1回100円、保険料3回200円

申し込み　初日に直接会場へ

問い合わせ　会場（☎241—4600）へ

なべ物料理講習会

日時　2月22日午前10時〜正午

会場　中地区公民館

対象　婦人32人（応募多数の場合は抽選）

内容　カキのみそなべ、ほか

材料費　800円

持参品　エプロン、ふきん、筆記用具

申し込み　2月13日（消印有効）までに往復はがきで住所、氏名、電話番号、講習会名を記入し会場（〒950 古川町4—12、☎271—0017）へ

三川スキーのつどい

日時　2月16日午前8時半に鳥屋野地区公民館を出発、午後5時帰着

行き先　三川温泉スキー場

定員　90人

参加費　1人2,000円（保険料を含む、ただし、リフト代は自己負担）

申し込み　参加費を添えて鳥屋野地区公民館（☎285—2371）へ

ゆりかご学級

日時　2月16日〜3月23日毎週木曜日午前10時〜正午

会場　中央公民館

対象　昭和63年10〜12月生まれの赤ちゃんをお持ちの人50人

テーマ　ゼロ歳児のこころとからだ、子供の育ちと家庭環境、赤ちゃんの生活ほか

申し込み　電話で会場（☎223—7070）へ※保育の必要な方は、ご相談下さい。

■保育ボランティア募集

ゆりかご学級の保育ボランティアを募集しています。詳しくは中央公民館へ

着付け講習会

日時　2月15、22日午前10時〜正午

会場　石山地区公民館

定員　20人　**参加費**　700円

持参品　着物、帯、下着、小物一式

申し込み　白鳥（☎286—5789）へ

洋ラン講座

日時　2月9日午後1時15分〜3時15分

会場　園芸センター

テーマ　デンドロ、パフィオその他の属の育て方　**定員**　先着20人

申し込み　きょう5日から電話で会場へ

婦人スポーツリーダー研修会

日時　3月7、13日午前10時〜午後3時

会場　鳥屋野総合体育館

対象　市内在住で婦人リーダとして活動している人100人

内容　ビデオによる研修「セルフ・ヘルス・チェック」、実技（準備運動としてのエアロビクス、ソフトバレーボール）ほか

申し込み　2月15日（必着）までに往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、種目、所属クラブを明記し体育課（〒951—番堀通町3—12）へ

問い合わせ　体育課（☎229—6633）へ